令和８年度　岩手県立前沢高等学校　第１回学校運営協議会　会議録

１　日　時　　令和８年６月 22 日（月）　15：00～16：30

２　会　場　　本校会議室

３　参加者

学校運営協議会委員

No.	氏　名	所　属・職　名	備　考
1	鈴　木　常　義	奥州市前沢総合支所･総合支所官	行政関係者
2	瀬　川　達　雄	前沢図書館・館長	学習活動施設代表
3	三　浦　　真	前沢商工会・会長	商工会代表
4	及　川　順　也	岩手銘醸株式会社・専務取締役	企業関係者
5	南　幅　正　勝	前沢中学校・校長	接続する学校の職員
6	菊　地　ま　ゆ	前沢パン教室・講師	地域関係者
7	髙　橋　京　平	前沢高校・ＰＴＡ会長	ＰＴＡ代表
8	佐々木　誠　子	前沢高校・元ＰＴＡ会長	ＰＴＡ代表
9	寒河江　研　哉	前沢高校・校長	当該校職員
10	千　葉　智　恵	前沢高校・副校長	当該校職員
11	小　泉　康　長	前沢高校・総務生徒指導課長	当該校職員
12	渡　部　　亨	前沢高校・教務進路指導課長	当該校職員
13	佐　藤　智　康	前沢高校･教育相談保健厚生課長	当該校職員
	継　枝　　斉	前沢高校・教務主任	当該校職員

※　１名（及川　順也　委員）所用により欠席

４　次第及び会議録

⑴　開会

【副校長】

資料確認。辞令書について。本会成立の報告。開会。

⑵　校長あいさつ

【校長】

日頃より、本校の教育活動に、ご支援、ご協力いただいていることに、改めて感謝申し上げる。

東北北部も梅雨入りし昨日から本格的に雨模様で、東北本線が一部運休となり、本日、一ノ関方面から通学している生徒は登校できない生徒もでている。特に、今年の１年生は２、３年と比べても広い範囲から入学しており、北は　矢巾、花巻の南城中、飯豊、江釣子、金ケ崎など、南は磐井、千厩、大東などから通っている生徒も多いため、本日は影響が出てしまった。

また、ちょうど昨日までバドミントンの東北大会が弘前市で開催され、参加してきたところである。

５月高総体では、団体でのインターハイは逃したが、男子個人ダブルス、男子個人シングルスが７月末に開催される和歌山インターハイに出場してくる。

体育祭も今月上旬に開催され、初日はクラスマッチ、２日目は運動会種目であるが、趣向を凝らした種目もあり、生徒たちが勝敗だけでなく、楽しもうとしている姿に元気をもらった。

学校等の概況はこの後詳しく説明させていただくが、学校運営協議会で地域の関係各所の方々から、本校について様々意見をいただくことの大切さをひしひしと感じている。本日は是非忌憚のないご意見をいただければと思う。

⑶　自己紹介

上記の表の順に自己紹介。鈴木常義委員を会長、瀬川達雄委員を副会長に選出。

⑷　資料説明

ア　令和８年度岩手県立前沢高等学校経営計画、働き方改革アクションプラン、学校概況について【校長】

学校経営計画について、昨年度から大きな変更はない。「聡く　明るく　逞しく」の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた人格の形成、地域社会等の発展に寄与する人間の育成をメインとしており、地域と関わりながら、しっかりと人間力を高めることを念頭に置いている。

スクール・ポリシーにおいては、「主体的」ということに力を入れており、基礎学力の「根」の部分、「意欲」をしっかりと育てながら指導している。社会の中で他者と強調・協働できるよう、多様な価値観を認め合いながら協力・協調できるよう、ボランティア活動等も含めて推進しているところである。学習については、習熟度別授業、通級を実施し、かがやき支援員も入っており、生徒の状況を報告・共有しながら指導を進めている。

アドミッション・ポリシーについては中学生向けになるが、目的意識を持った生徒に来てほしいと考えている。部活動、社会貢献活動、地域おこしに関われる人材がほしいと思っている。重点目標の中に指標があるが、アンケートをとり指標をみながら、具体的に数字で評価しながら改善するというＰＤＣＡサイクルを実施していく。

取組方針の「学校いじめ対策組織」においては、人間関係のトラブルの解決能力を育てながら未然に防ぎたいと考え、いじめ対策に力を入れている。その他、ＰＴＡ、同窓会、様々な形でご支援いただきながら本校の魅力化を進めているところである。働き方改革について、タイムカードで管理し月 80 時間を超える人数は今のところゼロだが、どうしても部活動で増える先生もいるので、管理職で見ながら、声がけしな

がら削減していく。

スクラップ＆ビルドについて、今までやってきたことをスクラップすることは勇気がいるが、状況をみながら判断し、働き方改革を行っていく。

教職員のウェルビーイングについて、先生方が働き甲斐を持ち、自己の生活をしっかりといい意味で、ウェルビーイングを向上させたいと考えている。

概況の進路状況について、進学がやや多かった。岩手大学等にも入学している。新入生の状況については、ＳＳＴ講座等により時間をかけて人間関係づくりをしっかりと行っている。かがやき支援員の配置の他、数学では習熟度授業、英語でＴ.Ｔ.の授業を行っている。部活動の状況については表のとおりである。

地域貢献活動とボランティア、ＳＳＴやインターンシップ、習熟度別授業に力を入れている。

イ　令和８年度校務分掌運営方針について

【総務生徒指導課長・教務主任・教育相談保健厚生課長・副校長】

各課、事務室の今年度の重点目標、具体的取組について説明。

ウ　参考資料について（高校説明会・いわて留学）

【副校長】

高校説明会資料について。説明会では、はじめに創立 100 周年の記念動画を流し、非常に評判が良かった。その後、スライドで説明を行った。

前高の強みとして４つ挙げ、「個に応じた丁寧な指導」「ボランティア活動が盛んである」「進路達成率の高さ」「バドミントン部の活躍が学校全体をリードしている」ことを紹介した。詳細はスライドで紹介し、実際の活動について写真で感じてもらえていると思う。

ボランティアについては、前沢桜まつり、前沢牛まつりは終わったが、多くの生徒が協力してくれ、地域の方からお褒めの言葉をいただいている。ボランティアをすることで自主性、他者と協調・協働できる力を高め、コミュニケーション能力と人間力を磨いており、掲載された新聞記事も紹介している。生徒にとっては、地域の方に評価していただき、やりがいを感じ、生徒が地元へ恩返しする気持ちも大きく育ち、受け継がれている。

主な進路実績についても進学・就職の状況を伝えている。

バドミントン部の活動については、風通しの良い人間関係・練習環境でお互いを高め合うことができている。ＯＢ、ＯＧの方から色々なサポートや熱心なご指導をいただいており、強豪校として新聞等にも取り上げられている。野球部は１名入部。他の部活動も、熱心に活動している。

体育祭、クラスマッチ、修学旅行等の行事も紹介し、最後にクイズを４問出し、中学生に楽しんでもらいながら、前沢高校にさらに興味を持ってもらうようにした。

クイズは校長先生が考えてくださり、非常に好評であった。オープンスクール、ＳＮＳの情報も紹介し、全体で 10～15 分程度の説明を行った、今後も中学校を回る予定である。

【校長】

オープンスクールについて、おもてなしの時間帯も設け、昨年度はかき氷や流しそうめんを行った。クイズに焼き芋が出てきたが、今年の前高祭のＰＴＡで焼き芋をすることを宣伝する目的で考えた。また、インターハイ開催地の問題は、バドミントン部は毎年全国の大会に出場していることを伝え、地図でも確認して中学生に考えさせるようにして受験勉強の役に立つかもと付け加えた。

【副校長】

高校生説明会については以上である。

続いて「いわて留学に」ついて。資料はないが、本校では昨年度から県外募集である「いわて留学」を実施しており、今年は２年目となる。昨年度からの変更はなく、昨年度と同様に募集を行う予定である。

⑸　協議（質疑応答・提言・要望等）

ア　いわて留学について

【委員】

県外留学の状況はどうか

【教務主任】

応募は０である。

【委員】

私たちがサポートできることはあるか。保護者が一番に考えるのは住むところ、食事。下宿等をお世話いただけるとありがたい。県外で前沢高校の県外留学を広める場面はあるか。

【教務主任】

他校では９０万円を払い、そういったサイトで県外に働きかけを行っている学校もあるが、本校はそのようなことは行っていない。島根発の「地域みらい留学」という制度がある。多くの学校はそこを利用している。

イ　読書について

【委員】

図書館は４年位前図書館中学校高校でニコニコ図書館を始めた。これが評価された。大変嬉しい。

今年度も１回目は８月上旬に開催され、例年通りに２回実施する。中学校、高校とより良い関係ができていると感じている。お手伝いできることはやっていくし、アドバイスできることもあると思う。

【委員】

中学校では読書をしない生徒をゼロにしようという取り組みをしている。前高生の作ったお勧め本という作品を展示しているが、中学生はそれに興味を持ち、本を選んで、読書につながっている。

【委員】

児玉さんと言う人が書いた「AI に人間がどうやって勝つか」と言う本がある。AI に勝つためには、コミュニケーション力とか本を読むこととか大切になってくると思う。ぜひ読書を進めて欲しい。

ウ　インターンシップ、ボランティア活動について

【委員】

商工会議所はインターンシップのお手伝いをさせていただいている。ただ進学者が多いことが残念（町内企業に就職して欲しい）。インターンシップした会社との出会いを大切にしていきたい。そのために、生徒たちをリクルートしたいが個人情報というものがあって、結局ハローワークしか窓口がない。

卒業生に前沢高校に上位学校を卒業したら、一度戻ってもらい、高校側には会社につなげていただければうれしい。

ボランティアは、こちらが甘えているところがある。受け入れる会社の意識改革をしていきたい。

出身中を見ると、中学校から 1 人ずつというところも多くて心細いと思う。子供たちを大切に育てて欲しい。

【委員】

保育園で働いている。そこで前高生にボランティアをお願いしている。令和 6 年に奥州市内で生まれた子供は 449 人しかいない。令和 7 年は 402 人。15 年後にはとんでもないことになる。園児たちに前沢高校を選んでもらえるような活動をしたい。将来前沢高校に行こうと言う子供たちを育てたい。

【委員】

中学校もボランティアに行くことも多く、前沢高校の生徒を目にする機会が多い。前沢高校の生徒は強い輝きを持っていて、中学生も憧れている。それは自己有用感が強いからだと感じる。良いところを持っている。前沢高校の３分の１は前沢中学校の生徒、もっと自己肯定感を高めて次のステージに進ませたい。

【委員】

前高生は地域のボランティアをとてもよくやっている。普通保護者が関わる機会は少ないのだが、ボランティアを通して子供と関わることができる。

前高の運動会も保護者が見れるので、こういった活動を続けて欲しい。

私の息子は前高に入学してから読書をするようになった。前高には保護者も関われるのでとても良い。

エ　その他

【委員】

エアコンは完備されているのか。

【校長】

特別教室にはないが、教室には完備されている。

【委員】

にこにこ図書館の話だが、生徒はよく本を読んでいるのか。

【委員】

図書館見学を開催しており、１人１冊借りられている。

【委員】

地域にバドを広めたいと、以前菊地先生が言っていた。バドを広めることで地域の活性化、地域を巻き込んでいきたい。

【委員】

前沢高校にはサッカー部がない。新しい部活を作る事は可能か。

【生徒指導主任】

制度的に数年かかる。また、部員数を継続的に維持することも難しいだろう。教員数も少なく、対応は難しい。

【副校長】

最後に、今年度の学校経営計画の基本方針について承認いただける方は拍手をお願いします。　→　　承認。

⑹　諸連絡

【副校長】

第２回の学校運営協議会について、11 月下旬午後開催を予定。近くなったら皆様のご都合を伺い日程調整する。今年度も、地域の大人と生徒会役員との意見交換会を予定している。委員の皆様にもご協力をお願いしたい。

本日の会議録については、後ほど本校のホームページに掲載する。

⑺　閉会